

外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのおひとりずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関してご不明な点がある場合、あるいはデータの使用に同意されない場合には、以下にご連絡いただけたらと存じます。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当科における診療、治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

【研究課題名】

急性虫垂炎に対する手術適応等に関する後ろ向き研究

【研究機関】

帯広厚生病院外科

【研究責任者】

山村喜之（外科部長）

【研究目的】

当院では急性虫垂炎に対する手術を年間 50 例以上施行しております。しかし、来院時には虫垂が穿孔し腹膜炎をきたしている症例や膿瘍を形成しているような複雑性虫垂炎症例もあります。そのような症例は、手術適応の判断に苦慮するだけではなく、術後合併症により在院日数が長期化してしまうこともまれにあります。そこで、当科で急性虫垂炎に対して手術を施行した症例に関して術前・術後の患者データ等をもとに、適切な手術適応等に関して検討します。

【対象と方法】

今回 2010 年 1 月から 2021 年 12 月の期間において、当科で急性虫垂炎の手術を施行した患者さんを対象として、その患者さんの診療記録、検査データ、画像検査、他科での診療情報等、過去に行われた日常診療に基づくデータを解析します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など患者さんの直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者

さんを特定できる個人情報を利用しません。

【問い合わせ先】

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地 電話 0155-65-0101

外科 山村喜之